

そよかぜ 11月 園便り

令和6年11月5日(火)

西東京市立そよかぜ保育園

先月に比べてだいぶ風の冷たさを感じるようになりました。
秋から冬へと向かっていくこの季節、天気の良い日は戸外で思いきり身体を動かして遊び、しっかり体力をつけて、寒い冬も元気に過ごせる身体作りをしていきたいと思います。

身体作りと言えば…

10月の運動会では保護者の皆さんのたくさんのご参加、ご協力ありがとうございました。
初めて参加された方は「運動会」という概念が変わったのではないのでしょうか。
事前の「運動会便り」でもお伝えした通り、私たちの思いや大事にしたいと考える意味があって、そよかぜの運動会になっています。

全ての子どもたちが今持っている力を出しきって、よくやっていましたね。
参加して下さった保護者の皆さんの力が子どもたちの気持ちを後押しして、一段と素敵な姿だったと思います。また来年が楽しみですね。

そよかぜ保育園はどちらかというと「運動面に特化している」と思われる方が多いような気がしますが、決してそんなことはありません。生活すべてが繋がって、子どもたちは成長していきます。例えば、運動会で「高さのある巧技台に登ってジャンプする」という設定があったと思いますが、まず巧技台に手をしっかり開いて付き、グッと腕を伸ばして身体を上を引き上げ、膝を身体に引き寄せて足裏を付いて登る。巧技台の上で両足を揃えて遠くを目指してジャンプする。この中にもたくさんの「ここが大事」ポイントが入っています。

① 手をしっかり開いて付く

指が分化して使えるようになることの土台→指先を使った細かい動きに繋がっていく

② 腕を伸ばして身体を引き上げる

脇が閉まる→食具（スプーン・箸など）を使い、もう片方の手で茶碗を持って食べる
雑巾を絞る 様々なスポーツの基本動作に繋がる など

③ 膝を身体に引き寄せて足裏を付いて登る

膝を身体に引き寄せて→柔軟な身体→怪我をしないしなやかな身体へ
足裏を付いて登る→すぐに次の動作に移ることができる→次の見通しを持った行動に繋がる

④ 両足を揃えて遠くを目指してジャンプする

両足を揃える → 自分の身体を一旦立て直し次の動作に移る→気持ちを切り替える力
遠くを目指してジャンプする → 視野を広げる 自分の身体をコントロールする
生活の中で「～しながら～する」といった2種類の活動が同時にできるようになる

色々な取り組みをする中で一方的な見方だけではなく、多面的に子どもたちの姿を捉え、もし「この力をもっとつけていきたい」ということがあれば、どの方向からアプローチをしていくと良いのかを考えて、これからも丁寧に実践していきたいと思います。

▼ 親子遊ぼう会

今回の遊ぼう会では、秋を満喫し楽しめるように色々なコーナーを作っています。保護者の方と一緒に、この季節ならではの遊びを存分に楽しみましょう。是非、ご参加ください。

日時：11月16日（土）9：00～11：30

持ち物：お弁当箱（タッパーでも可）、汁椀
食具（箸やスプーン）、水筒（お茶か水）



※ 詳細は別途お配りします。

▼ 毎週金曜日更新 Blog について

毎週、“園行事”や“お散歩に行っている公園の紹介”などを Blog にて行っています。PC やタブレットでご覧の場合はカテゴリーが見やすくなっております。

<https://soyokaze-hoikuen.net/>



11月の行事

日	月	火	水	木	金	土
					1 年長紙漉き遠足	2
3 文化の日	4 振替休日	5 実習生受け入れ 16日まで	6 さつまいも掘り	7	8 合同避難訓練	9
10	11	12	13 栗本さん体育遊び 布団乾燥	14 さつまいも掘り 予備日	15	16 親子遊ぼう会
17 秋分の日	18 実習生受け入れ 30日まで	19 年長みどり交流	20 年長不審者対応 訓練	21	22	23 勤労感謝の日
24	25 年長 四園交流	26 眼科検診	27 誕生会	28 内科健診	29 歯科検診	30

秋晴れ

透き通る空 スーと流れるような雲 「気持ち いいね！」 空を見上げながら
 「秋だよ 秋だ！ 空は青いよ 飛行機 飛ぶよ ♪ ♪」 子どもたちが口ずさんでいます。
 園庭で食べた鮭汁 チャンチャン焼きの 美味しかったこと！！ 秋だなー

運動会を終え、一段とたくましくなった子ども達。

あらゆる活動の源である体力。健康で意欲的に生活するうえで欠かせない体力は、「面白そう！ やりたーい！」と興味をもった時、しり込みしないで挑戦する事に繋がります。
 ドキドキしながら、失敗を繰り返しながら取り組むうちに身体の使い方もスムーズになり、楽しくなります。
 「真似っこ・真似っこ」を繰り返し、ちょっと頑張ればできるかな？・・・と挑戦する気持ちを大切にしながら、毎日を重ねることで、心と身体が大きく成長します。

保育園には沢山のお友達がいます。互いに支え合い、歩く・走る・跳ぶ・投げる・捕まえるなどの基礎的な動きを繰り返しながら過ごす毎日。その繰り返しが豊かな心と体を育て、考える力を育てていきます。

幼児教育の基本は「生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの」と位置づけられています。
 そして幼児期の学びの特性は ①**五感を通じた体験の重要性** ②**「遊び」を通じて総合的に学ぶことの重要性** を上げています。(教育基本法より)

「一定時間 姿勢を正しながら、箸を持ち、茶碗を持って、こぼさないで食事する。」

肩の力を抜き、座位を保ち、手指が使える・・・かつて 5歳位になると当たり前になるようになっていたのですが、今はどうでしょうか。

便利グッズに頼ることも多く、箸（スプーン）が上手に使えなかったり、茶わんを持つこともなく、肘をつき、… 筋力がついてない為、なかなか思うように出来ないことが多いようです。

瞬発力はあるですが、持久力が伴っていないからでしょうね。便利になった現代＝生活文化の進歩がもたらした弊害とも言えましょう。

丈夫な身体と心を持つ子に育てる = 何物にも変え難い一生の宝物。

鬼ごっこ かくれんぼ 泥んこ・・・ たくさん あそぼう！！

運動会で存分に力を発揮する子どもたちを見ながら 願いを新たにしました。

職員のつぶやき

たつの子の会に栄養士として入職し、1年が経ちました。先日、運動会があり、子どもたちの全力で取り組む姿勢、転んでも諦めない姿に感動し、挑戦することの素晴らしさを教えてもらいました。年を重ねるにつれて、新しいことに挑戦することが怖くなることもありますが、子どもたちに刺激をもらい、月に1回は失敗を恐れず新しいことに挑んでいきたいと思う毎日です。そして、先月は千葉へ初めて一人旅に行ってきました。不安な気持ちと一人でもできたという達成感を体験でき、これからも様々な感情や経験を吸収していきたいなと改めて思いました。

保育園の日々の中では、毎日子どもたちが調理室に遊びに来てくれて「今日の朝おやつ何ー？」「お昼は何の魚ー？」「寝て起きたら何ー？」という声をくれます。子どもたちに給食を通して様々な食体験をしてもらえるように、そして食事の時間が笑顔の生まれる瞬間になれるように日々の調理に励んでいます。

西東京みどり保育園 坂 真那美